

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第18号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成22年4月19日 16時10分ごろ	
発生場所	沖縄県那覇市那覇港新港ふ頭第2号岸壁角部 (北緯26°14.2' 東経127°40.7')	
事故等調査の経過	平成22年4月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 祥洋丸、469トン	
船舶番号、船舶所有者等	130912、村田漁業株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船首部破損	
事故等の経過	本船は、船長ほか6人が乗り組み、那覇港新港ふ頭2号岸壁に着岸作業中、船尾方から強風を受ける状況下、岸壁に導索を取ることに失敗して、船首が左舷側に圧流されるとともに、船尾が右舷側に振られ、平成22年4月19日16時10分ごろ、船首外板が岸壁に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南東、風速 約8.5m/s 海象：うねり なし、潮汐 ほぼ低潮時	
その他の事項	本船は、インドネシア人16人を台湾の高雄港で乗せる目的で、高雄港に向かったが、ビザの関係で2～3日那覇港に待機することになり、初めての入港であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、那覇港において着岸作業中、船尾から風を受ける状況下、岸壁に導索を取ることができなかつたため、圧流されて岸壁に衝突した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、那覇港に着岸作業中、船尾から風を受ける状況下、岸壁に導索を取ることができなかつたため、圧流されて岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	